

大陰唇エンブレイス説明書

エンブレイスRFとは

本治療は専用のRFニードルを挿入し、大陰唇部分のたるみを改善しタイトニングをするたるみ治療です。皮膚内部に直接熱損傷を引き起こし、コラーゲン生成を促進することで肌の表面を傷つけることなくタルミ引き締めを実現します。皮膚の内側からラジオ波を照射できる特殊なハンドピースを使用して、真皮、皮下組織、皮下脂肪を3次元(3D)アプローチにより、RF熱エネルギーで効率よく熱収縮を行うことができる技術です。

治療箇所には局所麻酔を散布し、ニードルを挿入し、熱を加えていきます。

大陰唇縮小で生じる可能性のあるリスクについて

【火傷】

施術直後は照射部位に赤みややけどを生じることがありますが、状態によっては軟膏等を処方しますので、医師の指示に従って塗布してください。

【毛嚢炎】

熱により毛包が刺激され、毛嚢炎が起きる可能性があります。さらに、熱刺激は一時的に皮脂の分泌を増加させることがあります。ただし、この症状は一過性のものであり改善します。

【神経麻痺】

細かい神経の損傷により、知覚鈍麻・神経麻痺を生じることがありますが、一過性であり時間の経過とともに改善していきます。

【左右差】

手術直後より左右差が出る可能性があります。ダウンタイム中はとくに左右差を強く感じる可能性があります。元々人体は左右非対称であり、また個々の手術部位の形、皮膚の厚み、たるみ具合などが原因で、完全な左右対称にはならない場合があります。

【痛み】

局所麻酔の注射時に痛みがあります。術中は麻酔の効果で痛みはありませんが、術後麻酔が切れると痛む場合があります。痛みがある場合は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】

当日より若干の腫れが起こります。時間経過とともに腫れは引いていきます。

【感染】

術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服や外科的処置が必要となる可能性があります。

大陰唇エンブレイスをお受けいただけない方

・ペースメーカー、金属糸などを体内に埋め込んでいる方

・糖尿病、心臓疾患、発熱、感染、治療部位に感染症や重度の皮膚疾患のある方

・ケロイド体質の方

・ボトックス、ヒアルロン酸を1週間以内に施術された方

・シリコン、インプラントなどを挿入している部位・妊娠中の方

★授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

★止血機能障害のある方、抗凝固剤内服中の方、ケロイド体質の方は医師の判断が必要になります。

以上は一般的な留意事項であり、症状等には個人差が生じる旨、ご理解いただきますようお願い致します。

麻酔剤にアレルギーをお持ちの方、その他医師が不可と判断した場合は手術を受けられません。

医療法人社団桜恵会 THE ONE.